

開講学科	基礎教育センター	前橋工科大学 シラバス			
科目名	英語B	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		1年次	選択必修	11002103	
担当教員	ウェイン・ペニントン	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	前期	金曜日	1時限
授業の教育目的・目標	広汎な知識体系への関心を喚起し、幅広い教養と豊かな人間性の涵養を図るとともに、工学の専門教育に必要な基礎的学力、思考力ならびに表現力などを修得させる。				
学科の学習・教育目標との関係	外国語学習を通して異文化理解とコミュニケーション能力の伸長を図る。				
キーワード	CALL, インターネット, 情報処理, e-Learning				
授業の概要	コンピュータやインターネットを活用し、英語情報処理能力を養成する。CALL 教室において、オンライン教材を用いた e ラーニングと対面授業を混合した形のブレンディッドラーニングを指導する。主にリスニングとライティングスキルの養成に主眼を置きながら、全体的な情報発信能力、コミュニケーション能力の発達を目指す。(CALL)				
授業の計画	第1回： 選抜および授業説明 第2回： パソコン及びウィンドウズ操作説明、Moodle のアカウント作成 第3回： Moodle 使用開始 [List. L1 (your/you' re)] [Pron. L1a (and)/ L1b (or)] [読解演習] [作文練習] 第4回： [List. L2 (yours)] [Pron. L2 (a & the)/L3a (to)] [読解演習] [作文練習] 第5回： [List. L3 (for)] [Pron. L3b (for)] [読解演習] [作文練習] 第6回： [List. L4 (of)] [Pron. L3c (of)] [読解演習] [作文練習] 第7回： [List. L5 (you)] [Pron. L5 (contractions with be)] [読解演習] [作文練習] 第8回： [List. L6 (...ing endings)] [Pron. L6 ( 'll)/ L7 ( 've)] [読解演習] [作文練習] 第9回： [List. L7 (What do you)] [Pron. L8 ( 'd)/ L9( 'd)] [読解演習] [作文練習] 第10回： [List. L8 (want to)] [Pron. L10 (. 'n' t)/ L11 (isn' t)] [読解演習] [作文練習] 第11回： [List. L9 (going to)] [Pron. L12 (aren' t)/ L13] [読解演習] [作文練習] 第12回： [List. L10 (can' t)] [Pron. L14( ' im, ' em)]/L15 (. . ing)] [読解演習] [作文練習] 第13回： [List. L11 (get)] [Pron. L16 (gonna)/L16b] [読解演習] [作文練習] 第14回： [List. L12 (to)] [Pron. L17 (be)/ L17b] [読解演習] [作文練習] 第15回： [List. L13 (to after vowel)] [Pron. L18 (was)/ L18b] [読解演習] [作文練習]				
受講条件・関連科目	特になし。但し、履修希望者が多い場合は最初の授業で <b>選抜テスト</b> をし、人数制限を行う。例年多くの受講者が集まるので、初回を欠席すると受講チャンスは低くなる。				
授業方法	E-ラーニングシステムとオンライン教材を利用し、リスニングを行いながら、合わせて英語ライティングの基礎的な力を養って行く。またネット情報検索の効果的な実践を学び、E-Learning のための環境—Moodle—を使ってオンライン学習を実践して行く。Moodle はどこからでもアクセス可能なので、いつでも学習可能である。学生は必ず E-メールアカウントを取得し、指定された Moodle のコースにアクセスして本講義のコース登録をしてもらう。コース受講に必要なキー（パスワード）は後に伝える。				
テキスト・参考書	特に指定しない。教材はネット上に在る。				
成績評価	・試験（30%）・その他 課題（70%）				

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 提出作文は一段落の文（100語程度）にしてForumに投稿すること。</li><li>➤ 提出する作文は基本的に<u>スペルチェック（文書校正）</u>をかけて<u>スペリング</u>の間違いが無い様にしておくこと。</li><li>➤ 時間内に仕上がらなかった作文、聴きとり、読解は空き時間などを利用して必ず次の授業までに済ませて来ること。</li><li>➤ 各学科で行われる情報倫理講習会に出席し、テストに合格しないとアカウントがもらえない、つまりコンピュータが使えないということなので、自己責任で必ず合格しておくこと。これは授業に支障をきたすので特に注意すること。</li><li>➤ タイピングは自分で練習し少しでも早くできるようになる方が有利。タイピングが遅くて課題のスピードが速すぎると泣き言をいう学生は自覚が足りないと、認識すべき。</li><li>➤ 2週目位からMoodleにアカウントを作ってログインしていくが、その時点でEメールアカウントが無いとMoodleアカウントは作れない。学生は携帯メールではなく、大学配布のEメールアカウントを必ず2回目の授業までに持つておくこと。</li><li>➤ 学習の指示がEメールを通じてMoodleから各自に自動配信されるので、学生はできるだけ<b>毎日自分のメールをチェックする</b>習慣を付け、指示を確認すること。</li><li>➤ 他人の文章をそのままそっくり（あるいは部分的に）コピーしてあたかも自分が作った文章であるかのように見せることは著作権の問題になるので決してしないように。また自動翻訳ソフトを使って機械に作らせた英文を提出することも、決してしてはいけない。<b>もしこの様なことが発覚した場合には単位を取り消す場合があるので十分注意すること。</b></li></ul>
--------	---